



ロタウィルスワクチン



ロタウィルスは毎年冬から春にかけて流行する胃腸炎の原因となるウイルスです。感染力が強く、保育園・幼稚園で流行することもたびたびあります。命にかかわることはまれですが、特に乳児がかかるとひどい脱水になり入院が必要になることもあります。なかにはけいれんや脳症などの重症の合併症を起こすお子さんもいるため、予防してあげたい病気のひとつです。



ロタウィルス胃腸炎にかかるとのを防いだり、重症化するのを防いだりするのがロタウィルスワクチンです。

ロタウィルスワクチンにはロタリックスとロタテックの2種類があり、いずれも飲むタイプの液体のワクチンです。甘い味がついています。どちらかを選んで接種し、途中でもう一方に変更することはできません。



ロタリックスとロタテックの違いは？

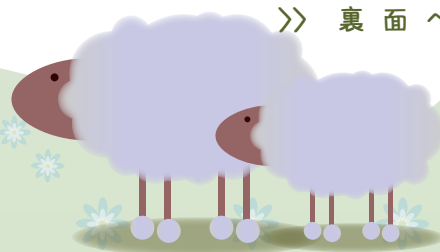
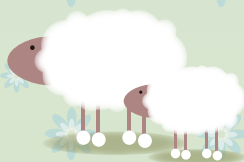
	ロタリックス	ロタテック
日本での発売	2011年11月	2012年7月
	生ワクチン	
接種方法	経口(1回1.5ml)	経口(1回2ml)
接種可能時期	生後6週～24週の間に2回	生後6週～32週の間に3回
接種間隔	4週間以上あけて	
初回接種推奨時期	生後14週6日までに	
対応する血清型	1価	5価
効果持続期間	臨床試験で3年 (9年間効果ありとの論文あり)	7年
日本での出荷本数と推定接種者数	約930万本、 ひとり2回接種しているとして 約465万人 (2022年10月まで)	約680万本、 ひとり3回接種しているとして 約227万人 (2022年6月まで)



効果に違いはありますか？

ロタウィルスには様々な種類(血清型)がありますが、ロタテックはG1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]の5つの血清型に対応しています(5価)。ロタリックスはG1P[8]という一番流行し、重症化しやすい型に対応しています(1価)が、交差免疫によりロタテックと同じの範囲がカバーできます。臨床的なロタウィルス性胃腸炎の予防効果は両者とも変わりません。

>> 裏面へ





ロタウィルスワクチン



副反応はどのようなものがありますか？

ワクチンの種類によって副反応に違いはありません。

①下痢・嘔吐

ロタウィルスワクチンは生ワクチンですので、ウイルスがおなかで増えます。しかし、それにより下痢・嘔吐が起こるのはそれぞれ数%程度と報告されています。また、ウイルスが便中に排泄されることがあります。ワクチンのウイルスは弱毒化されていますので、それが原因で周囲の方が胃腸炎を起こすことはほとんどありませんが、おむつ交換後に手洗いをしてください。

②腸重積症

もともとロタウィルスワクチン接種の対象年齢のお子さんには腸重積症（腸が腸の中に入り込み、腸がつまってしまう病気）が起こることがあります。1歳未満の腸重積症の自然発生の頻度は10万人に40～400人と様々なデータがありますが、最近では10万人に50～100人程度とされています。

ロタウィルスワクチンの接種により腸重積症が少し増えるとの報告があります。自然発生にくらべて10万人に1～4人程度増えるのみであり、その影響はごくわずかと考えられますが、接種後1週間は腸重積症の症状に注意する必要があります。

腸重積の頻度はまれですが、進行すると手術が必要になることもあるため、早期の発見が重要です。

- 繰り返し吐く ● 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- ぐったりして顔色が悪くなる ● 粘血便（いちごジャム様の便）が見られる

などの症状があればすぐに受診をしましょう。夜間は夜間救急を受診しましょう。

自由が丘メディカルプラザ 小児科
<http://www.jiyugaokamp.com/s>
TEL : 03-5731-3565

2023年8月17日改訂
日本小児科学会認定専門医
院長 高嶋 能文

